

7月27日から8月2日は 「肝臓週間」

肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は 肝炎ウイルス検査を受けましょう

- 肝炎ウイルスに感染していても、多くの場合、自覚症状はありません。
- 知らないうちに、**肝硬変・肝臓がんへと進行**する恐れがあります。
- 肝炎ウイルス検査は、健康診断、保健所、医療機関等でうけることができます。
- 肝炎ウイルス検査を受けられる医療機関は  **肝ナビ** でチェック。

* 肝ナビ（肝炎医療ナビゲーションシステム）：インターネットで「肝ナビ」を検索（<https://kan-navi.ncgm.go.jp/index-s.html>）

健康診断などの血液検査で肝機能を示す ALT値がもしも30を超えていたら、 慢性肝臓病が隠れているかもしれません

- 肝機能異常の原因には、ウイルス性肝炎・脂肪肝炎・アルコール性肝炎・肝硬変・肝臓がん等の様々な肝臓病の可能性があります。
- いずれの肝臓病も自覚症状がないことが多いため、自分で判断することはできません。
- 健康診断で肝機能異常を指摘された後、放置していませんか？
- 医療機関を受診し、血液検査・画像検査（超音波検査等）等による精密検査を受けましょう。

肝臓病と言われた方は放置しないでください

- 肝臓病の状態により、治療が必要です。
- 特にC型肝炎ウイルスは飲み薬で体内からの排除が可能です。
- 治療の必要性がなくても、経過観察が必要な場合があります。
- 肝臓がんを早期に発見するためには、定期検査が必要です。
- 肝臓専門医を受診してください。
- 当院消化器内科には肝臓専門医が在籍しています。

